

Library NEWS

2020年9月9日(水)

富合中図書室 藤本 桃子

7・8月の貸出し状況



例年より少し短かった夏休みが終わり、2学期がスタートして1週間が経ちました。

夏休み中の開館日には昨年よりも多くの方が学習に來たり、本を借りに來たりしてくれて嬉しかったです。夏休み中にみなさんは何冊の本を読むことができたでしょうか。まだまだ暑い日が続きそうですが、「読書の秋」も近づいて來ています。ぜひお気に入りの1冊を見つけてみて下さいね。

さて、7月の貸出し総数は 779 冊、8月は3日間の貸出して 24 冊でした。図書室では、10月の読書月間に向けてイベントを計画中です。2学期はより多くの方が利用してくれることを楽しみにしています。

7月1日(水)~7月31日(金)				
	1組	2組	3組	学年合計
1年	101	88	96	285
2年	114	54	106	274
3年	44	120	56	220

8月11日(火)、8月12日(水)、8月31日(月)				
	1組	2組	3組	学年合計
1年	5	3	0	8
2年	2	2	5	9
3年	2	2	3	7

寄贈本紹介 ~富合中出身の先輩の書籍&田中文庫~

夏休みの学びたいむの講師としていらっしゃっていた先生の中に、富合中の前身である下益城北部中にお勤めになれていた方がいらっしゃいました。その方が「昭和38年ごろ(57年前ごろ)に下北中で担任した生徒の著書をぜひ、図書館に置いてください。」と、4冊の本を校長先生に持ってこられたそうです。国町出身の敷島悦朗さんとおっしゃるみなさんの大先輩の著書です。

1951年生まれの敷島さんは、済々黌高校を卒業後、慶応大学に進まれ、アウトドアの達人として世界の数多くの山に登られ、国内では沢登りや岩登りをされてきたそうです。残念ながら2015年に病気で亡くなっていますが、先輩の活躍をぜひ一度読んでみてください。

また、図書室には「田中文庫」と呼んでいる書架があります。

ここには国町にお住いの田中キサさん、田中義勝さんより寄贈していただいた本が並んでいます。幅広い分野の本を寄贈いただいていますので、「田中文庫」だけでなく、分類別の書架にも並んでいます。田中さんからの寄贈本には、背表紙に緑のシールが貼ってあります。

他にも各種団体からの寄贈本もあります。表紙をめくって1枚目の裏に「寄贈」という印鑑が押してある本は全て寄贈本です。

直接感謝の気持ちを伝えることは難しいですが、本を読むことで感謝の気持ちを伝えられたらいいなと思います。



寄贈していただいた敷島悦朗さんの著書

I 学期によく読まれた本

I 学期に5回以上貸し出された本は41冊ありました。まだ貸出し回数が0回の本もたくさんあります。どれもおもしろい内容ですので、ぜひ手に取って読んでみてください。

また、短くサクッと読める作品だけでなく、2学期はぜひ少し長めの作品にも挑戦してみてくださいね。

順位	書名	著者名	貸出し回数
1	カゲロウデイズ 4	じん(自然の敵 P)	11
2	カゲロウデイズ 5	じん(自然の敵 P)	10
3	カゲロウデイズ 1	じん(自然の敵 P)	9
3	5分後に意外な結末 ex	桃戸 ハル	9
4	5分後に意外な結末	桃戸 ハル	8
4	5分後に恋の結末	橘 つばさ	8
4	カゲロウデイズ 2	じん(自然の敵 P)	8
4	いなくなれ、群青	河野 裕	8
5	その白さえ嘘だとしても	河野 裕	7
5	セミオトコ	岡田 恵和	7

新着図書紹介

7月から9月の初めの週に入ってきた本の紹介です。直木賞受賞作品や人気の鬼滅の刃の小説など、たくさんあります。図書室前の新着本紹介コーナーや図書室中央の机をチェックして、ぜひ借りて読んでみてください。

書名	著者	書名	著者
部活魂!この文化部がすごい	読売中高生新聞編集室	一人称単数	村上 春樹
世界でいちばん素敵な大和言葉の教室	吉田 裕子	少年と犬	馳 星周
水を縫う	寺地 はるな	泣いたあとは、新しい靴をはこう。	日本ペンクラブ
鬼滅の刃 風の道しるべ	吾峠 呼世晴	綾峰音楽堂殺人事件	藤谷 治
あめつちのうた	朝倉 宏景	愛を知らない	一木 けい
青少年のための小説入門	久保寺 健彦	わたしの美しい庭	凧良 ゆう
ピブリア古書堂の事件手帖2 扉子と空白の時	三上 延	ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー	ブレイディ みかこ
海狼伝	白石 一郎	スタジオジブリの食べものがいっぱい	スタジオジブリ
読書嫌いのための図書室案内	青谷 真未	世界はもっと!ほしいモノにあふれてる	
猫を棄てる	村上 春樹	日本製	三浦 春馬
5分後に意外な結末ベスト・セレクション 白の巻	桃戸 ハル	5分後に意外な結末ベスト・セレクション 黒の巻	桃戸 ハル

今月のおすすめ



読んでみない?



図書司書 藤本のおすすめ

『あめつちのうた』 朝倉 宏景

みなさんは「阪神園芸」という言葉を聞いたことがありますか。「阪神園芸」は、兵庫県にある阪神タイガースの本拠地であり、夏の高校野球大会が開かれる甲子園球場のグラウンド整備を担当する会社です。絶望的な運動神経の持ち主である主人公が、「阪神園芸」に入社し、普段はあまりスポットの当てられないグラウンド整備という仕事を選び、様々な運命と向き合う仲間たちとの関わりを通して自分と向き合っていく物語です。野球が好きな人も、そうでない人も、ぜひ読んでみてください!